

【愛知県北名古屋市】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

Society5.0 時代を生きる子どもたちのため、これからの学校は、公正に個別最適化され、創造性を育める教育の実現が求められている。そのためにも、児童生徒一人ひとりがタブレット端末を活用でき、家庭でのオンライン学習が可能となるなど、ICT の活用により全ての子どもたちに学びを保障できる環境を整備、維持していくことが必要である。また、個別最適化された学びの実現には、個々の理解度や学習ペースに合わせた学習計画を立てていく必要がある。さらに、子どもの解答を AI が分析、個々の習熟度に応じて学習を進めることができるシステムを導入することで、子どもが自主的に学習を進める意欲を高めていくことを目指す。協働的な学びの実現では、授業内で児童生徒同士がタブレット端末を活用し、作成した資料を基に意見発表・意見交換を実施するグループワーク等の機会を増やし、他者の考えに触れ、思考力や表現力などを育成していくことを目指す。

2 GIGA 第 1 期の総括

本市は、国の GIGA スクール構想を踏まえ、1 人 1 台端末の配備と高速大容量の校内通信ネットワークを一体的に整備し、教科や学習場面に応じて、端末を日常的に活用している。児童生徒一人ひとりに配備したタブレット端末を最大限活用するため、児童生徒が自分の意見をまとめ、リアルタイムで意見を共有できる授業支援ソフト、個々の習熟度に応じて学習を進めることができる AI 技術を活用したデジタルドリルを導入し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進してきた。また、児童生徒の学びを止めない環境づくりとして、端末の日常的な持ち帰り、インターネット接続環境が無い家庭に対し、モバイル Wi-Fi ルータの貸出しを実施することで、家庭での端末を活用したオンライン学習を全児童生徒で可能となるよう整備を行ってきた。さらに、ICT 支援員を各学校に派遣しており、教員の ICT 活用力・指導力の向上を図っている。

しかしながら、学校間で ICT の取組状況に差が生じてきているため、ICT の活用を図ることができるよう、各学校に向けて先進的な学校の情報提供を実施していく。

3 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的な活用

教員が ICT 活用・指導力を向上できるよう、ICT に関する研修を実施する。

ICT 機器だけではなく、教育内容に関して知識を有する ICT 支援員を各学校に派遣し、各学校の各種支援や実践事例の情報共有等を行う。

タブレット端末の持ち帰りを継続して実施する。また、子どもの解答を AI が分析し、次に取り組むべき問題を自動で出題、単元の先取り等、個々の習熟度に応じて進めることができる AI 型デジタルドリルを活用する。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒同士が課題等に対してタブレット端末を活用し、自分で調べ・考えをまとめ・発表することができるよう、先進的な学校の取組や文部科学省リーディング DX スクール事業における実践事例などを各学校へ情報提供していく。

児童生徒一人ひとりの学習状況を AI 型デジタルドリルにより、教員が細かく把握できるため、それぞれの児童生徒の特性や理解度・進度に合わせた指導方法等に活用していく。

(3) 学びの保障

インターネット接続環境が無い家庭に対し、モバイル Wi-Fi ルータの貸し出しを継続して実施し、全児童生徒に対し、1人1台端末を活用した家庭でのオンライン学習などの学習機会を確保していく。不登校や特別支援、日本語指導、障害など、様々な困難を抱える児童生徒に対し、特性に応じたデジタル教材や支援装置などの整備を図り、学習機会を確保していく。また、児童生徒への端末を活用した健康観察・教育相談システムについて、今後最適なツールの採用を検討する。